



サンタランドイルミネーション（ツリー点灯式 10月28日撮影）

ひろお 議会だより

No 208

2023年12月1日発行

【令和5年第3回定例会】

まちのお金はどう使われたか 令和4年度決算

2

一般質問（4人が登壇）

／暑さ対策／給食費無償化／マイナ保険証

11

議員定数等に関する調査特別委員会

15

産業・総務常任委員会 キャンプ場の施設及び運営状況

16



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

広尾サンタランドマスコットキャラクター
「さーたちちゃん」

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

どう使われたか



令和5年
第3回
定例会
9/6～14

一般会計収入（歳入）合計 79億135万円

自主財源	町税	9億5594万1276円 (12.1%)
	分担金・負担金	2億3009万3139円 (2.9%)
	使用料・手数料	2億153万4526円 (2.5%)
	その他収入	9億1327万5260円 (11.6%)
依存財源	地方交付税	37億9539万3000円 (48.0%)
	国庫支出金 (国からもらうお金)	6億548万7973円 (7.7%)
	道支出金 (北海道からもらうお金)	3億5177万2329円 (4.5%)
	地方譲与税・交付金等	3億7087万3722円 (4.7%)
	町債 (借金)	4億7697万9000円 (6.0%)

令和4年度各会計収支（歳入・歳出）一覧

会 計 名	収入（歳入）	支出（歳出）
一般会計	79億135万225円	77億740万3235円
港湾管理特別会計	1億1293万3844円	1億1039万87円
簡易水道事業特別会計	1億3559万7009円	1億2803万8793円
下水道事業特別会計	3億4953万2618円	3億4567万6741円
国民健康保険事業勘定特別会計	8億9417万8018円	8億9137万8818円
介護保険特別会計	6億5749万1454円	6億4168万7984円
介護サービス事業特別会計	2億5513万4153円	2億5455万5694円
後期高齢者医療特別会計	1億2473万5819円	1億2454万6926円
病院事業債管理特別会計	5600万1884円	5600万1884円
水道事業会計	収益的収支※1	1億5628万7681円
	資本的収支※2	0円
		7853万8834円 ※3

※1 収益的収支～事業活動に伴い、発生が予定されるすべての収入と支出

※2 資本的収支～将来に備えて行う建設改良や、建設改良に要した借金の返済金などの収入と支出

※3 収支の不足分は、留保資金などでカバー（補てん）

令和5年第3回定例会は、9月6日（水）から14日（木）までの9日間の会期で開かれ、令和4年度決算認定（一般会計ほか9会計）のほか、条例の改正や令和5年度補正予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

町民1人あたりに使われたお金

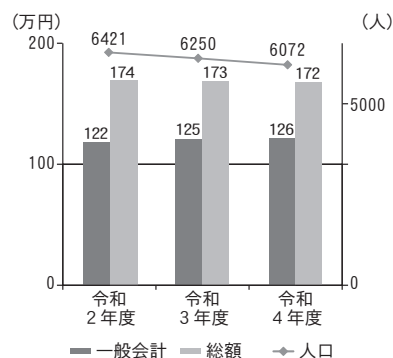
（一般会計）

約126万円

※特別会計等を含めると

約172万円

（注）3月末現在の住民基本台帳
人口6072人で計算したもの



貯金（基金）残高の推移

平成30年度	30億2320万円
令和元年度	29億7157万円
令和2年度	30億8267万円
令和3年度	33億4950万円
令和4年度	33億6996万円

借金（町債）残高の推移（全会計）

平成30年度	156億6476万円
令和元年度	147億4534万円
令和2年度	139億5462万円
令和3年度	132億5290万円
令和4年度	122億5470万円

数字で見た広尾町の財政力

項 目	R 3	R 4
財政力指数 高いほど、毎年必要なお金を自力で調達できる。	0.233	0.230 ↓
経常収支比率 高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。 町村では75%以下が適正とされている。	82.4%	87.7% ↘
実質公債費比率 高いほど、収入の多くを借金の返済に使うことになる。 25%を超えると借金を制限される。	14.7%	14.5% ↓
将来負担比率 高いほど、将来の財政が圧迫される可能性が大きい。	36.6%	25.4% ↓

令和4年度決算審査

まちのお金は

一般会計支出（歳出）合計 77億740万円

議会費	7934万5365円 (1.0%)
総務費	7億8111万207円 (10.1%)
民生費	16億9242万3482円 (22.0%)
衛生費	8億2964万5768円 (10.8%)
農林水産業費	6億421万9468円 (7.8%)
商工費	4億4466万3506円 (5.8%)
土木費	9億4299万8392円 (12.2%)
消防費	4億1504万1104円 (5.4%)
教育費	5億8760万7580円 (7.6%)
公債費（借金返済）	13億3034万8363円 (17.3%)

一般会計はか9会計の令和4年度決算認定について、決算審査特別委員会（渡辺富久馬委員長）を設置し、9月12日、13日の2日間審査した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。その後、9月14日の本会議で討論・採決、全会計の決算が認定されました。

※一般会計、国保事業勘定特別会計は起立による採決を行いました。（賛否の内訳はP10）

【一般会計決算の概要】

収入（歳入）合計額は79億135万円（全年度比1・8%減）、支出（歳出）合計額は77億740万円（前年度比1・4%減）となりました。

収

入の48・0%を占める地方交付税は37億9539万円となりました。（前年度比378万円の増）

町

税収入は前年度比4・8%増の9億5594万円となりました。徴収率は9・4%（昨年度9・2%）で、3480万円が未納となっています。

貯

金（基金）残高は合計で前年度比0・6%増の33億6996万円となりました。

借

金（町債）残高は合計で前年度比7・5%減の122億5470万円となりました。

状況をチェック

決算審査 特別委員会

9/6, 12, 13

委員長 渡辺 富久馬
副委員長 萬亀山ちず子

新年度予算についての
質疑内容を抜粋、要約
してお知らせします。

一般会計

庁舎内防犯カメラ

問 防犯カメラの設置箇所
や運用方法は。

答 警備員の死角になる場
所に設置しており、何
か対応しなければならぬ
事情があった際に記録を確
認する。

町民みらい会議

問 内容をまとめたものの
公表や今後の取扱いは。

答 町ウェブサイトや新聞
に「まちづくり未来新
聞」を折り込み、町民に周
知している。地域おこし協
力隊が推進する事業に今後
も役立てていく。

防災資機材取扱訓練

問 訓練内容は。

答 町職員が、広尾高校生
や自主防災組織の役員、
町民と一緒にいう避難所運
営訓練を実施する際の防災
資機材の取扱い訓練。

問 全体の統括者を育てる
ための訓練は。

答 管理職の役割となるが、
全体的にはできていな
い状況。

中川一郎記念館

問 入館者減少の要因と運
営の見直しは。

答 令和4年度から開館日
を、土曜日、日曜日と
祝日に変更している。現在
の運営方法を継続し、今後
も適正に管理する。

東京・札幌・帯広広尾会

問 解散や休止状態となっ
ている会もあるが、組
織の再構築の考えは。

答 コロナの影響や会員の
高齢化等で帯広広尾会
は解散したが、広尾会に
関しては継続して会の存続に
寄与し、PR等にも務める。

子ども農山漁村交流

問 荒川区内小中学校の学
校給食に満遍なく町産
食材を提供する考えは。

答 現在は無償化の形で進
んでいるが、今後は食
材提供のあり方を検討する。

滞納整理機構

問 十勝市町村税滞納整理
機構の費用対効果は。

答 令和4年度は、負担金
168万円に対して収
納実績が407万円で約2
40%の費用対効果。

◆滞納整理機構の収納状況（広尾町）

年度	運営分担金	収納額	費用対効果
平成30年度	1,643,000円	2,774,677円	168.9%
令和元年度	1,678,000円	2,861,657円	170.5%
令和2年度	1,685,000円	4,651,955円	276.1%
令和3年度	1,992,000円	4,951,404円	248.6%
令和4年度	1,688,000円	4,079,762円	241.7%

問 少額の案件を引継ぎし
ないことでコスト削減
につながるのでは。

答 徴収に結び付かない難
しい案件を機構に引き
継いでおり、金額は件数割
を割っているが、少しずつ
でも徴収していきたい。

予算の執行



なごやかサロン

問 なごやかサロンの会場を生活支援ハウスなどに戻す考えは。

答 新型コロナウイルス感染症を受けて会場を老人福祉センターに変更している。生活支援ハウスなごみを運営する社会福祉協議会とともにコロナの状況を見て、社会福祉協議会でなごみでの再開が可能となった場合は、町民に周知する。

ファミリーサポート

問 受入れ側の登録人数や利用人数、利用時間は。

答 サービスを提供する側は8人、利用希望者は1人、活動実績はなし。

老人ホーム入所待機

問 入所待機者が64人となっているが、今現在64番目の人は何年後に入所できるのか。

答 入所者の移動は年間10人程度で、3年以上かかる人もいれば、タイミングが良くて早く入所できる人もいる。基本的には相当時間を要する。

エキノコックス症検診

問 実施人数が昨年に比べ半減した要因は。

答 令和元年62人、令和2年81人で、令和3年は受診勧奨を強化したことで146人と急増した。受診は5年に1回と伝えており、昨年受けた人は5年後になる。

映画「北の流水」

問 映画「北の流水」(仮称)に関する負担金や出資金等の現時点での合計額は。

答 活動負担金が189万8000円、出資金が330万円、ふるさと納税と指定寄付が2700万円で、合計3219万8000円。

ワクチン接種後遺症

問 コロナワクチンによる後遺症等の把握は。

答 令和4年のワクチンの副反応に関する相談は11件。多くが接種後の発熱に関するもので、日常生活に支障をきたすような副反応や後遺症についての相談はきていない。

有害鳥獣駆除

問 市街地にヒグマの出没が増えている中で、鳥獣対策の専門員を養成する考えは。

答 住民生活を守るという観点からも、猟友会と連携し、ハンターの知識や経験、技術を若い世代に引き継ぎ、担い手を確保する方法を検討していく。

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊の活動経費の内容を見ると、公費の支出としてはもう少し検討やルール作りが必要ではないか。

答 地域おこしのために活動をしていく上で、町民に誤解を与えないような一定のルール作りをしたい。

問 広尾版ハローワーク「広尾しごと」の情報誌やウェブサイト作成・運営の継続見込みは。

答 紙媒体での月1回発行は難しく、協力隊が実質1人減となったことで継続は厳しい状況にある。町ウェブサイトでは、職員が随時情報を更新している。

共用車の管理

問 他町村での車検が切れた車の長期間使用が新聞等で報道されていたが、町の管理は。

答 担当部署で車検切れがないよう常に確認を実施している。また、事業所から確認文書の送付もある。

ツリー点灯式

問 サンタランドツリー点灯式の動画配信サービスに係る経費圧縮の考えは。

答 動画配信のほかにも編集や点灯式の司会も担っており、業務内容は妥当と判断して今後も継続していく。経費については、圧縮や財源の確保等も含めて検討する。

教職員の長時間労働

問 教職員の長時間の時間外勤務によるストレス等が全国的な課題となっているが、本町の実態把握は。

答 教職員の働き方改革のアクション・プランを策定し、町で作成した出勤システムによって勤務時間を把握している。また、時間外在校等時間について

は、町ウェブサイトでも公表している。

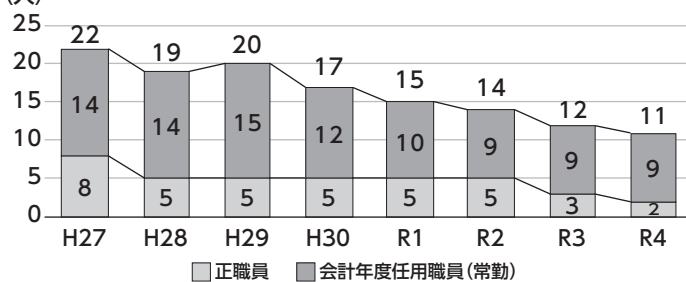
介護サービス特別会計

介護職員の減少

問 特別養護老人ホームの常勤介護職員が減少している理由は。

答 養護老人ホームとの人事異動による入替えや退職等による。

◆特別養護老人ホーム常勤介護職員数の推移



討論

一般会計歳入歳出決算

反対 住民生活への影響

旗手恵子議員
はたけけいこ

全国的に経済活動が低迷し、電気代や燃料費、飼料料代の相次ぐ値上げは、住民生活はもとより農業や水産業にも大きく影響している。ふるさと納税の使途は町民のために活用できるよう見直すべきと考え、本決算認定に反対する。

賛成 財政運営の健全化

萬亀山ちず子議員
まきやま

産業振興をはじめ、子育て支援や地域福祉、安心して暮らせるまちづくりなどに務めた内容である。コロナ感染症対策では予防や拡大防止に努め、財政運営においても健全化への努力が認められるものであり、本決算認定に賛成する。

国民健康保険事業勘定特別会計決算

反対 被保険者の負担増

前崎 茂議員
まえき しげる

北海道に運営主体が移行し、国保税が引き上げられてから、とりわけこの2年間は大幅な引き上げとなっている。新型コロナウイルス感染症により経済環境が悪化する中で、被保険者の負担増は回避すべきと考え、本決算認定に反対する。

賛成 健全運営に不可欠

北藤利通議員
きたのりみち

国民健康保険事業は、健全で安定的な維持運営を図り、被保険者の医療確保と健康増進に努めている。保険税率の改正は、事業の健全な運営に必要な不可欠なもので、適正な会計運営がされていることから、本決算認定に賛成する。

広尾高等学校

1 学年 1 学級に

令和 6 年度募集学級数 1 間口減！

令和 5 年
第 3 回
定例会
9/6～14



2 間口確保と高校存続に取り組む

9月5日に北海道教育委員会から公立学校配置計画が公表され、令和6年度の広尾高等学校の募集学級数が1学級削減の1学年1学級となりました。

現在の広尾中学校3年生は36人で、広尾高等学校への進学率を考えても、次年度1間口の募集でも町内外

から広尾高等学校へ入学を希望する生徒への影響は少ないが、翌年度の卒業見込み者数は53人となっており、生徒の進路選択への影響が出ないよう、令和7年度に向けた北海道教育委員会への二間口確保の要請を行っていく予定です。

また、広尾高等学校の存

中高一貫 教育制度導入

続に向けた取り組みを今後も継続していきます。

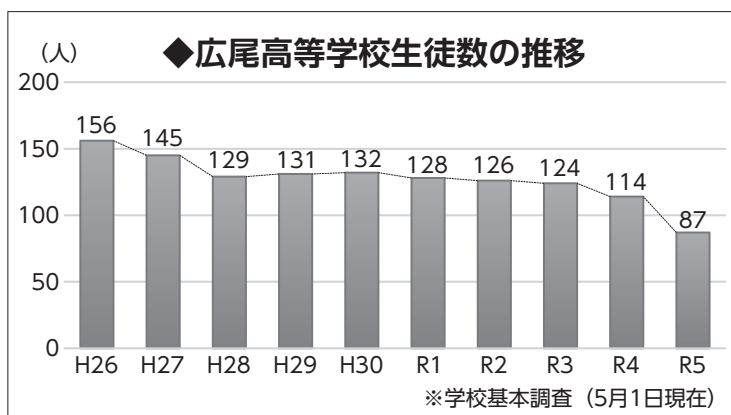
町では、平成18年度から「郷土広尾を愛し、心豊かに学び、新世紀を逞しく、主体的に生きる人を育てる」地域の教育力を結集し、広尾の子どもは広尾で育てる」を基本理念に、中高一貫教育制度を導入しています。

子どもたちの将来像を見据え、基礎・基本の確実な定着と個に応じた指導など、特色のある教育活動を推進しています。

広尾高校 サポートプラン13

「広尾高校サポートプラン13 将来の夢と希望の実現は広尾高校から」として、広尾高校の生徒に対し、次の13項目の支援を行っています。

- ① 進学・就職に有益な資格検定料の補助
- ② 進学・就職に必要な模擬試験料の全額補助
- ③ 大手予備校講習等の受講費用全額の補助
- ④ WEB講座受講料補助
- ⑤ カナダ国際交流費補助
- ⑥ 部活の遠征費等の補助
- ⑦ 高校3年間の医療費助成
- ⑧ 広尾高校に入学した生徒全員に一人5万円を支給
- ⑨ 希望者に一食300円の自己負担で給食を提供
- ⑩ 片道4km以上の距離を路線バスや家用車等を利用して通学する生徒に費用を補助
- ⑪ 町内の下宿等から通学する生徒に月額5万円を上限に費用を補助
- ⑫ 町内で遠距離通学の生徒を対象にスクールバスを運行
- ⑬ 部活動に高度な知識や技能を持つ人材を外部講師として招へい



補正予算

一般会計

地域おこし協力隊活動支援

156万円

問 活動支援備品購入費の内容は。

答 タブレット一式、カメラ用フラッシュ・三脚・リモートレリーズ等を購入。

問 活動支援金で購入した備品は、地域おこし協力隊員に所有権があるのか。

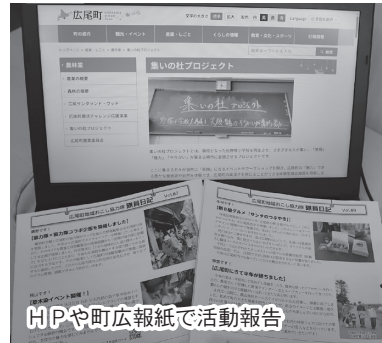
答 最終的には、活動が終わった時点で、町に帰属するものと考えている。

問 庁舎外で活動している地域おこし協力隊員の就業状況の管理体制は。

答 日誌や報告等で就業管理をしている。今後は、活動内容に応じて担当課長や係長が出退勤管理を行い、不都合な部分があれば改善しながら進める。

問 地域おこし協力隊からの報告に関するフィードバックはどのように行っているのか。

答 活動内容を町広報紙やホームページ等で報告している。また、様々な場面で関係各課と地域おこし協力隊の活動協力に努める。



十勝港物流調査委託

800万円

問 調査期間と内容は。

答 調査期間は本年度3月末までを予定。内容は、本州から帯広・十勝への物流の実態や課題把握、効率的物流体系構築に向けた方向性を検討する。

文化財標柱設置工事

116万円

問 工事数と標柱の材質は。

答 坂本直行氏の入植地の標柱1か所と案内標柱4か所を予定。材質はアルミ製を考えている。

その他決まったこと

教育委員の任命

教育委員会委員の任命に同意しました。
菊地亜希さん（新任）
（任期）令和5年10月1日から4年間

条例の改正

◆広尾町海洋博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正

博物館法の一部改正に伴い、引用している部分を改正しました。

◆広尾町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

正

地方公営企業法の一部適用を行っているため、一部適用を規定する条項を削除しました。

土地の取得

公園建設予定地5948平方メートルを3271万4000円で取得する議決をしました。

財産の取得

消防団員防火服一式を156万8千750円で財産取得する議決をしました。

令和5年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑤⑥	77億4775万円	2億4941万円	増
港湾管理特別会計 ①	1億464万円	254万円	増
国保事業勘定特別会計 ②	9億4971万円	23万円	増
介護保険特別会計 ②	7億5263万円	4995万円	増
介護サービス事業特別会計 ③	2億9531万円	51万円	減
後期高齢者医療特別会計 ①	1億3090万円	※増減なし	
水道事業会計 ③			
収益的収入	3億494万円	1044万円	増
収益的支出	2億9485万円	369万円	増
資本的収入	4113万円	1万円	減
資本的支出	1億6379万円	2万円	減
下水道事業会計 ②			
収益的収入	4億2866万円	269万円	増
収益的支出	3億4934万円	238万円	増
資本的収入	1億3206万円	54万円	増
資本的支出	3億401万円	183万円	増

※会計名の後の丸数字は補正回数

（1万円未満切り捨て）



村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

普通交付税の決定

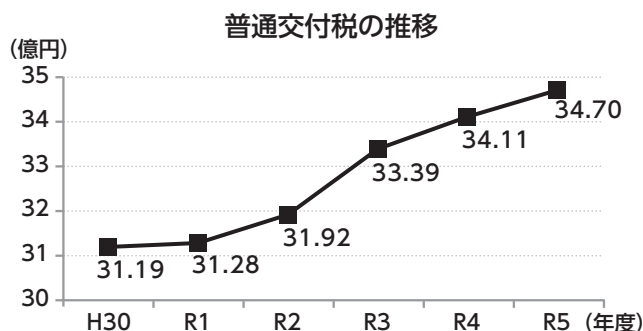
令和5年度の普通交付税決定額は、34億7088万1000円となり、前年度と比べて5950万9000円、1・7%の増となった。また、臨時財政対策債の発行可能額は、2078万6000円、52・5%の減となった。

道路維持作業中の事故について

7月25日字紋別10線25番地先尾張支線道路で、町道脇から伸びた枝を伐採中、誤ってNTT架空光ケーブルを切断する事故が発生した。この事故によるけが人はなかった。

広尾高等学校の募集学級の減

9月5日に北海道教育委員会が公表した、公立学校配置計画において、広尾高等学校の募集学級数が令和6年度に1学級削減され1学年1学級となった。翌年度の卒業見込み者数は53名、次年度に向けた2間口確保の要請を今年中に行う予定。(7ページに関連記事)



意見書3件を可決

国等へ提出

※内容は要約しています。

- ① 肥料、燃油などの生産資材等高騰対策の強化を求める意見書

提出者 北藤 利通議員

北海道の農業は、国民の食料を安定供給する食料基地として、多面的機能の発揮に大きな役割を果たす産業として、本道の地域経済・社会を支える重要な位置づけにある。

地域経済を支える農業が今後も継続できるよう、生産者の負担軽減対策に資する生産資材価格高騰対策について要望する。

森林資源の循環利用を進める必要がある。

本町をはじめ道内各地域では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用に向け、森林整備事業や治山事業など国の事業を活用し、植林・間伐や路網の整備、優良種苗の安定供給、山地災害の防止、木造公共施設の整備、森林づくりを担う人材の育成など、様々な取組を進めてきたところである。

本道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成するため、国においては、植林の推進に必要な森林整備事業予算や治山事業予算の確保、森林環境譲与税の譲与基準見直し等の措置を講ずるよう強く要望する。

- ③ 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 山谷 照夫議員

道路を取り巻く環境は、激甚化・頻発化する自然災害や巨大地震のリスクが増大するなど、国土強靱化の取組が喫緊課題になるとともに、道路施設の老朽化や通学路等の安全対策の推進が大変重要となっている。

国においては、道路網の整備や老朽化対策などを着実に推進するため、新たな財源の創設、国土強靱化に必要な予算・財源の確保等の措置を講ずるよう強く要望する。

提出先

衆議院議長・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、②③、経済産業大臣、①②、農林水産大臣、①②、環境大臣、②、文部科学大臣、②、復興大臣、②、国土強靱化担当大臣、③

- ② ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

提出者 山谷 照夫議員

本道の森林は地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、

令和5年 第3回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案 (議案名は一部省略しています)

賛：賛成 否：反対 欠：欠席

議 案 名	1 松田 健司	2 浜野 隆	3 萬亀山 ちず子	4 前崎 茂	5 北藤 利通	6 志村 國昭	7 星加 廣保	8 欠 番	9 渡辺 富久馬	10 小田 雅二	11 旗手 恵子	12 山谷 照夫	13 堀田 成郎	議決 結果
令和4年度一般会計決算認定	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛		賛	否	否	賛	－	認定 (8-3)
令和4年度国保事業勘定特別会計決算認定	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛		賛	否	否	賛	－	認定 (8-3)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。
※8番は欠番です。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和5年6月定例会終了後～令和5年9月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号 議員名	1 松田	2 浜野	3 萬亀山	4 前崎	5 北藤	6 志村	7 星加	8 欠 番	9 渡辺	10 小田	11 旗手	12 山谷	13 堀田
6/26	第4回臨時会(補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○
9/6	第3回定例会(専決処分の報告など)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
9/7	第3回定例会(条例改正・補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
9/8	第3回定例会(一般質問)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
9/14	第3回定例会(決算認定・意見書など)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
開催日数計	5日	出席日数計	5	5	5	5	5	5	5		4	5	5	5	5

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：所属外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号 議員名	1 松田	2 浜野	3 萬亀山	4 前崎	5 北藤	6 志村	7 星加	8 欠 番	9 渡辺	10 小田	11 旗手	12 山谷	13 堀田
7/19	第1回産業及び総務常任委員会		○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	－
8/2	議会広報編集会議		－	－	－	○	○	○	○		×	－	－	○	－
8/10	第3回議会広報特別委員会		－	－	－	○	○	○	×		○	－	－	○	－
8/22	議員定数等に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
8/31	第6回議会運営委員会		－	○	○	○	－	－	×		○	－	－	○	○
9/6	決算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	－	○		○	○	○	○	－
9/12	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	－	○		○	○	○	○	－
9/13	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	－	○		○	○	○	○	－
9/14	議会広報編集会議		－	－	－	○	○	○	○		○	－	－	○	－

※正副議長の委員会への出席

堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、いずれの委員会にも随時出席し、発言することができるため、出席した委員会は「○」と表しています。

※決算審査特別委員会は議長、議選監査委員を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：該当外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号 議員名	1 松田	2 浜野	3 萬亀山	4 前崎	5 北藤	6 志村	7 星加	8 欠 番	9 渡辺	10 小田	11 旗手	12 山谷	13 堀田
7/4～5	全道議員研修会(札幌市)		○	○	○	○	○	○	×		○	○	×	○	○
7/20	議会モニター会議(2班)		－	○	－	－	－	○	○		－	○	○	○	○
8/16～17	議会広報研修会(札幌市)		－	－	－	○	×	○	×		○	－	－	○	－
8/22	議会懇談会(農協理事、全議員)		○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○
9/6	第8回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○



一般質問



まつだ けんじ
松田健司 議員

9月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。
※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

各議員の一般質問は録画中継にてご覧いただけます。
(QRコードは14ページ掲載)

常態化する暑さ 今後の対策は

町長 早急な冷暖房工事の着手は困難

質問

町内でも長期的な夏の暑さが常態化する傾向にあるとの認識に立った災害レベルでの対応を検討する必要があると認識する。

答弁

村瀬町長

公共施設における暑さ対策については、建築年数が古い建物が多く、ほぼ未着手の状態にある。

昭和57年に整備後40年を経過しており、昨年に庁舎の長寿命化計画を策定し改修を計画的、効果的に実施することと長期にわたる使用を計画しているところである。

改修費用については冷暖房の暑さ対策費用は含まれていない。予算等の詳しい積算は行ってはいないが、数千万以上の費用が見込まれることは確実であり、早急な着手は困難であると考える。

豊似保育所でも施設内に1台だけクーラーが設置された部屋で、児童や職員が長時間過ごしているが、公共施設の暑さ対策と今後の取り組みを伺う。

人口減による職員体制と

行政サービスは

町長 職員によるデジタル施策を検討

質問

少子高齢化に起因する人口減少社会

の中で、広尾町総合戦略に記載されている人口推移では、2065年には2300人まで減少するとあるが、逆算すると今後20年で人口が半分になる事も予想される。

答弁

村瀬町長

広尾町においても、国が新たに策定したデジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき「地方版総合戦略」の見直しを図るべく、役場内において職員によるデジタル施策検討部会を立ち上げ、住民サービス向上や業務の効率化に向け、ICT技術を活用した施策を検討しているところである。

人口が半分になると行政職員も半減し、様々な行政サービスがマンパワー不足で実施できない状況になると認識するが、少ない人口、少ない職員でも継続できる行政サービスに向け必須なのが行政のICT化であり、それを担うデジタル推進室や推進課を役場内に設けるような考えについて伺う。

デジタル推進専門の部署を設けるという事については広尾町の組織上難しく、現在の職員の中でICT化に向けた検討や取組を進めていきたいと思っている。

次のページは「一般質問」
『給食費無償化・マイナ保険証』

※ICT

「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の略称で、インターネットやパソコンなどの情報通信機器を用いて行うコミュニケーションを実現する技術。



はたてけいこ
旗手恵子 議員

給食費無償化 本町も取り組むべき

町長

恒久的財源の確保が困難

質問

今年度、小中学校給食費を無償化する自治体が全国で491自治体に広がっており、一部助成を合わせると500を超える自治体が無償化を実施している。

東京都では、本町と交流のある荒川区を含む23区中、18区で無償化を実施し、府中市など他の7市町村でも無償化を実施している。北海道でも、今年度からの実施を含め47市町村に達し、小学校のみを無償化している三笠市、芦別市を含めると49自治体となっており、道内3分の1近くの自治体が完全無償化に取り組んでいる。

十勝管内では、足寄町、浦幌町、鹿追町、陸別町、士幌町がすでに実施。豊頃町は、小中学校の給食を10月から半年間無償化する方針を固め、9月定例会に関連予算を提出するとの報道もある。

本町の少子化対策・子育て支援・今日の物価高騰からの保護者負担の軽減策の見地から、併せて、教育は無償、という大きなうねりの中で、本町も学校給食費無償化に取り組むべきでは。



物価高騰による保護者負担の軽減を

答弁 村瀬町長

学校給食費軽減については少子化対策、子育て支援、保護者負担軽減を図る上で有効な施策の一つであると認識している。

第2子を半額、第3子を無償化にした場合の所要額は、第2子半額で211万7000円、第3子無償化で57万円の合計268万7000円程度と試算しており、町としては、限られた財源の中他の支援や施策を含め検討してきた中で見送りとさせていただいたところである。

施策を続けていくことを考えると恒久的な財源の確保が困難となり、踏み切れない部分があると思っている。

今後も、少子化対策への効果も期待できるものを模索していく中、子育て世代が安心して子どもを産み育てる町を目指すこと、住民ニーズも考えながら支援施策の検討を進めていく。

議会を傍聴

しませんか

仕事の合間に！

友達と！

団体などで！

議会はどなたでも傍聴できます

手続きは簡単

役場の3階にお越しください

「傍聴人入口」で住所・氏名を記入

傍聴席へどうぞ！席は自由です

次回
定例会は
12月上旬
開会予定

※団体で傍聴を希望する方は、議会事務局にご連絡ください。
(02・0180)



まえざき しげる
前崎 茂 議員

「マイナ保険証」

健康保険証廃止は中止、延期を

町長 法律に従い業務遂行する

質問

マイナンバー法の改正案が6月2日可決成立され、マイナンバーカードの取得は任意、現行の健康保険証を廃止、「マイナ保険証」として来年秋から実施し事実上の義務化を図るものとなった。

子どものマイナンバーを親の口座にひもづける誤りが約13万件報告される等、トラブルが相次いで発生しており、国民の不信感が高まっている。

本町のマイナンバーカードの交付申請、交付件数は何%か、また返納された件数は。

開業医等の組織である全国保険医団体連合会が7月に行った会見で、加盟している医療機関で5500件のトラブルが発生し、一旦

10割を負担していただいた例が1291件あった。このまま保険証を来年秋に廃止した場合、オンライン資格確認ができないなどのトラブルは全体で108万件になると推計をしているが、点検作業等に伴う今後の事務量は。

世論調査では、来年秋の現行の健康保険証廃止、マイナンバーカード一体化に対し「延期すべし」や「中止すべし」との声が7割を超え、60歳以上では81・8%に達している。全国保険医団体連合会、日本医師会も健康保険証の廃止は延期すべきとしている。自治体の首長として住民の命と健康を守る立場から、国に対し連携して健康保険証廃止の延期等について発信すべき

ではないか。

答弁 村瀬町長

マイナンバーカードの本町における申請及び交付の件数について、8月27日現在で申請数は5480件、87・98%であり、交付数は4869件、78・17%である。返納件数について、死亡や転居、再交付等による廃棄件数は、制度開始の平成28年1月から数えて165件であり、制度自体への不安や不満等を理由に返納された方は0件となっている。

点検作業等に伴う本町の作業量については、デジタル庁から発出されたマイナンバーカードの総点検対象数は0件のため、現時点で作業は発生していない。

マイナンバーカードと健康保険証一体化については法律により定められたため、それに従い業務を遂行し、町民に不安を抱かせぬよう制度の周知に努める。

マイナンバーカードと健康保険証一体化の概要

- ①乳児に交付するマイナンバーカードについては顔写真不要
- ②健康保険証廃止とともに、マイナンバーカードによるオンライン資格確認を受けることができない状況にある方が必要な保険診療等を受けられるよう、本人からの求めに応じ**資格確認書**を提供
→保険証の代わりになる証明書

議会のこと

教えて！さーちゃん



Q

「議員定数」ってなに？

A

条例により定められた議会を構成する議員総数のこと！
広尾町の議員定数は現在13人となっているよ。



おだまさじ 議員
小田雅二

プレミアム付商品券「今後の考えは

町長 彼の自治体を参考に総合的に判断

質問

物価高騰対策として先月発売したプレミアム付商品券について、プレミアム率30%の商品券は、各世帯20組10万円を上限に募集したところ、多数の希望が寄せられたため上限を7万円に変更、また広尾町約3200世帯のうち申込みは1242世帯と半分に満たなかった。

同時期に鹿追町では、購入ではなく年齢区分等に応じて4千円、6千円、3万円の商品券を全町民に無料配布している。このような先進事例は非常に貴重なデータであり、参考にすべきだと思う。

広尾町と鹿追町では手法が異なるが、判断基準は生活弱者をどのように救えるかだと考える。町の考えは。

答弁 村瀬町長

地域振興プレミアム付商品券については、前回から予約にて販売をしており、各世帯20組10万円を上限に募集したところ多数の購入希望が寄せられ、1世帯あたり14組までの販売となっていました。希望された全世帯が購入することができ、商品券は完売した。事業の目的は、商工業者・住民の生活支援としている。他の自治体の事例も参考にしつつ、今後の商品券発行事業については、国の経済対策予算等の措置が見込める段階で総合的に判断していく。

町長

通行車両の安全のため 各機関に要請

各道路沿いの草繁茂

危険回避の要請を

質問

交通安全対策と道路上に生い茂る雑草による視界不良について、町道、道道、国道の現在の草刈り状況では、道路脇からの動物の飛び出しや、車両を巻き込む交通事故の可能性が予測され大変危険である。

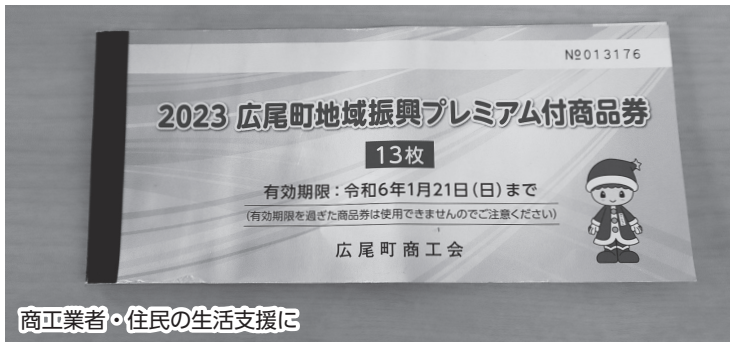
答弁 村瀬町長

国道の維持管理は広尾町だけではなく全道・全国に広がっている問題である。市町村主要懸案事項を十勝総合振興局にてまとめており、12年間連続して要望を出しているところである。

警察署が国道に鹿の飛び出し注意についての警戒看板を設置したとの新聞報道もあり、各関係機関への要請も必要だと思うが、町としての姿勢は。

また、開発局と各自治体で業務の打ち合わせをする都度、通行車両の安全を確保するため国道の草刈りの実施について要望を出している。

今後も各関係機関と協議を行い、町民が安心して通行できる道路網の確保に努める。



商工業者・住民の生活支援に

旗手議員・前崎議員・小田議員・松田議員の一般質問はこちらから





現状維持で来年の改選期を迎える

議員定数等に関する 調査特別委員会報告書(概要)

委員長 不在 副委員長 山谷 照夫

令和3年第3回定例会(9月16日)において設置された本委員会より、令和5年第3回定例会で調査結果の報告がなされました。

概要は以下のとおりです。

なお、委員会報告後、議長の調査終了宣告により本委員会は消滅しました。

全国の町村で議員のなり

手不足が深刻化しており、本町においても平成28年、令和2年の町議会議員選挙は2期連続の無投票当選となつています。

議員のなり手不足は、議員定数と議員報酬について大きく関わる問題であることから、議長を除く全議員による調査特別委員会を設置し、調査を行いました。

適正な議員定数や議員報酬を検討するため、議員研修会を開催し、また、町民の意向を把握するため、議会報告会や議会懇談会などで意見や要望を受けました。

【議員定数】

町民からは、定数を減らした場合に意見が偏ることを危惧する発言や、人口減に合わせて議員を減らすべきなど、現状維持や定数減等の意見がありました。

委員からは、「議会の活性化においては一人でも多い方が議論の場としては基本的に良い」、「活発な議論により将来のまちづくりを考えるべきであり、議論に必要な人数として現状維持とすべき」、「人口減少が進んでいる状況等も踏まえ、議員定数を減らすべき」などの意見があり、採決の結果、現状維持と決定しました。

【議員報酬】

町民からは、報酬増によって議会の活性化を期待する意見や、議員定数との関連から定数の減分を報酬増の原資にするなどの意見がありました。

委員からは、「町の

十勝管内各町村の議員定数・議員報酬

(令和5年9月末現在)

町村名	人口 (R5.9月末)	議員 定数	議員報酬 (単位:円)					
			議長	順位	副議長	順位	議員	順位
音更町	43,032人	20人	397,000	1	321,000	1	281,000	1
幕別町	25,668人	19人	323,000	2	258,000	2	212,000	2
芽室町	17,950人	16人	306,000	6	244,000	6	204,000	5
清水町	8,952人	13人	275,000	16	219,000	15	183,000	15
本別町	6,213人	12人	292,000	12	230,000	12	185,000	10
足寄町	6,205人	13人	300,000	8	235,000	8	188,000	8
広尾町	6,067人	13人	294,000	11	235,000	8	185,000	10
池田町	6,038人	12人	296,000	9	234,000	10	185,000	10
士幌町	5,876人	12人	310,000	5	245,000	5	195,000	6
新得町	5,438人	12人	296,000	9	233,000	11	188,000	8
大樹町	5,408人	12人	286,000	13	227,000	13	185,000	10
鹿追町	5,085人	11人	316,000	4	249,000	4	205,000	4
上士幌町	4,792人	11人	304,000	7	244,000	6	192,000	7
浦幌町	4,233人	11人	318,000	3	254,000	3	212,000	2
中札内村	3,887人	8人	267,000	17	211,000	17	169,000	17
更別村	3,133人	8人	258,000	18	203,000	18	162,000	18
豊頃町	2,995人	9人	281,000	15	225,000	14	185,000	10
陸別町	2,168人	8人	286,000	13	217,000	16	175,000	16

※人口は、北海道ホームページより

財政状況を考えると非常に難しい問題かと思うが、将来議員を目指す人のことを考えると増額の必要もある」、「活動に見合った報酬の額となっている」、「政務活動費の交付についても調査・検討すべき」などの意見があり、採決の結果、現状維持と決定しました。

議員定数・議員報酬 現状維持の賛否

賛：賛成 否：反対 欠：欠席

委員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
議員定数	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛		賛	賛	賛	—	—
議員報酬	賛	賛	賛	否	否	否	賛		賛	賛	賛	—	—

※堀田議員は議長、山谷副委員長は委員長代行のため、採決に加わりません。※8番は欠番です。

次のページは「常任委員会」

in 大樹町

in 幕別町（忠類）

常任委員会 査（行政視察）

び運営状況について～



カムイコタン公園 キャンプ場（大樹町）

概要

岩奇勝の地カムイコタンにある清流と森に囲まれたキャンプサイト。

一部オートキャンプ場スタイルになっており家族やグループでの野外キャンプを楽しめる。

キャンプ場下段サイトに接する歴舟川では、水遊びやニジマス・ヤマベ・イワナ釣りが可能。キャンプ場対岸にある「カムイコタン歴舟の森・森林浴コース」での散策、川岸での「砂金堀り体験」など、アウトドアを満喫できる。

問 キャンプ場における禁止（注意）事項の徹底で特に気をつけている事項は。

答 隣接する駐車公園の駐車場や河川敷地などキャンプ場以外の敷地での車中泊やテントを張る行為（禁止する根拠がないためお願いとして）。

問 利用者の中で悪質な行動と考えられる事柄とその対策は。

答 キャンプ場利用者以外と思われる者によるごみの投棄があり、監視を強化した。

収容能力及び料金

・ Aサイト…20台座（セミオート）
・ Bサイト…12台座（オートキャンプ）
・ Cサイト…25台座（セミオート）
テントサイトの利用は大人600円（中学生以下は無料）
1サイトの利用料が1000円に満たない場合は1000円

産業・総務常任委員会

産業出席委員：委員長 小田雅二 副委員長 旗手恵子

松田健司・北藤利通・志村國昭

総務出席委員：委員長 前崎 茂 副委員長 萬亀山ちず子

浜野 隆・渡辺富久馬・山谷照夫

調査日 令和5年7月19日

※産業・総務合同で行政視察を行いました。



産業・総務 所管事務調

～キャンプ場の施設及

ムービングイン十勝 「北の森」(大樹町)

■概要

”新しい旅のカタチ“をコンセプトに、原生林に囲まれた2万坪の敷地に4区画4棟のみの客室を有する宿泊施設。

■料金

1棟素泊まり…8万円(食事付12万円)

■外観

全てのサイトにサウナトレイラーと薪式露天風呂を併設、サイトの区画間は十分な距離を取ることでプライバシー空間を確保している。自然が広がる森の奥深くで、自然と共生する極上の宿泊体験が可能。

■問

サイト内の動物に対する安全対策について、どのような工夫をしているか。

■答

電気柵でサイト内の周囲を囲みクマ対策を行っている。

■問

利用者はどのような方が多いのか。

■答

道内より首都圏や海外の訪日客等の利用が半分以上。いわゆる富裕層の利用者が多い。

十勝ナウマン温泉ホテル アルコ グランピング施設等(幕別町忠類)

■概要

2021年7月1日にオープン。温泉ホテルに併設し、道の駅、子供の遊び場や遊具など、集客に結び付く多くの要因がある。

■料金

・1テント…2万7000円(ハイシーズン)
・夕食…1人5000円
キャンプ場は今年から今まで無料だった利用料金を1区画当たり1500円に。

■外観

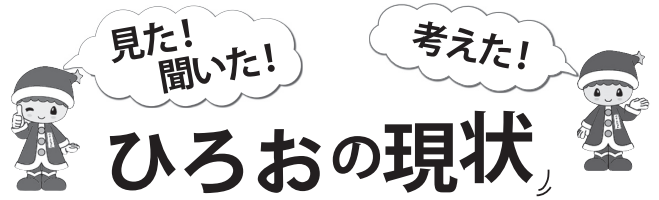
第1、第2のサイトにはそれぞれ28と24の区画があり、キャンピングカーや車中泊の第3エリアに16区画がある。

令和3年7月からは2人用のグランピング施設を2基整備。



■キャンプ場の現状
今年4月、神奈川県相模原市のキャンプ場で倒木があり1人の死亡事故が発生したこと、シーサイドパークキャンプ場での倒木の可能性について依頼。約200本がその可能性があるとの報告を受けた。また、キャンプ場エリア内、シラカバ等の木々は再生の困難性が確認された。

シーサイドパーク
キャンプ場（広尾町）



■委員会での机上調査
各課から資料に基づき説明。水産商工観光課から約200本の立木伐採整地費用の約800万円を含む総額約1億円のキャンプ場造成費用及び委託業者による基本構想・基本計画整備内容積算資料について、企画課から「あつまれ! デイキャンプの杜」、キャンプ場ワークシヨップの実施報告、教育委員会から昨年11月のキャンプ場再開検討会による再整備計画についての説明を受けた。

■シーサイドパークキャンプ場造成費用について

	項 目	内 容	金額 (円)
1	敷地内立木伐採	立木伐採 (約 200 本) 抜根処理・整地、枝条整理	7,791,000
2	管理棟改修工事	D 型ハウス改修 (仮設、解体、板金、雑工事等)	6,538,000
3	第 1 トイレ改修工事	トイレ改修 (機械設備、左官、内装、外装等)	12,975,000
4	炊事場改修工事	炊事場改修 (仮設、塗装、電気設備等)	3,990,000
5	オートサイト造成工事	区画造成・設備整備等	7,000,000
6	敷地内道路造成等	道路造成 (400m × 5m)、駐車場造成、敷均し	25,927,000
7	街路灯・電気設備工事	街路灯整備 (11 本)	4,950,000
8	トイレ・炊事場点検	水廻り設備点検	754,000

- 問** 施設の再整備における利用者の想定人数は。具体的な人数は出てきてはいないが、売上げを1000万円として考えており、キャンプ場が閉鎖されるまでの人数と再開後のプラスアルファを含めての人数を想定している。

答
- 問** 管理棟をコンテナハウスにする、身の丈に合った規模にするなどのコスト削減についてどのような検討をしたのか。

答 コンテナハウスを含め、色々な想定で検討した結果、D型ハウスの再利用となった。トイレの改修についても便器を減らすなどの検討をしたところである。
- 問** 危険性のある防護保安林の伐採許可についてどのような手続きをしているのか。

答 保安林の手続きについては農林課が担当しており、相当な申請や手続きが必要になると聞いている。

議員力アップへ

8/17

北海道町村議会議長会議会広報研修会 ～伝わる議会報の編集ポイント～



北海道町村議会議長会による議会広報研修会が札幌市で開催され、議会広報特別委員4人が参加しました。実際に各町村で発行されている議会広報を例に、文章やレイアウトの良い点、改善すべき点など、具体的な編集方法について講評とともに説明が行われました。研修で学んだことを活かして、今後もよりわかりやすく伝わる議会広報を目指します。

研修を受けて 議員のレポート

※一部抜粋

山谷照夫副委員長

議会広報作成の枠組みは「企画力と編集力」の両方を考えること。読者を意識した編集は「読者の関心を高め、理解を深める」こと。その為にはどうしたら良いのか、自分達の議会広報として考えなければならぬと思う。わかりやすい構造の編集には「流れがある」ことの重要性を痛感した。

志村國昭委員

議会活動を知っていたため、重要な手段のひとつである本町の議会広報について、発行まで複数回の委員会を開催、工夫や判読を繰り返し編集にあっている。

読者それぞれの解釈、評価がある中で難しいことと思うが、最終的により多くの方に関心を持っていただける議会広報発行に向けた努力を継続することが求められると思う。



10/4

南十勝町村議会議員研修会 ～住民の関心が高まる議会～

南十勝議会議員研修会が更別村で開催され、議員9人が参加しました。

この研修は、地方自治を取り巻く環境が変化する中、地方議会には執行機関に対する監視能力と政策立案能力の更なる向上が求められていることから、地域振興や多岐にわたる地域課題についての情報交換を通じて、南十勝圏域の協力的かつ総合的な発展と議員相互の交流を深めることを目的に毎年行われているものです。

今年は「住民の関心が高まる議会」と題し、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長中村健氏を講師に研修会が行われました。

全国各地の地域づくり、議会の事例を基に、議会活動の起点である住民の声を聴くことにスポットを当て、その重要性について学びました。

議会活動日誌

令和5年9月～令和5年11月

【9月】

- 1日 砕氷艦「しらせ」十勝港入港歓迎式典及び歓迎パーティー
- 2日 砕氷艦「しらせ」艦上懇談会
- 6日 第3回広尾町議会定例会（～14日）
第8回議員協議会
- 10日 第28回広尾町福祉まつり
- 14日 議会広報編集会議
- 20日 広尾町開町記念式典
- 22日 敬老会（市街地）

【10月】

- 4日 南十勝町村議会議員研修会（更別村）
- 6日 防災公園整備に係る調査特別委員会
第9回議員協議会
- 17日 道東4地区管内町村議会議長会連絡協議会（中標津町）
- 24日 総務常任委員会行政視察（～25日・南幌町ほか）
- 28日 広尾サンタランドツリー点灯式
- 31日 産業常任委員会行政視察（～11月1日・東神楽町）

【11月】

- 6日 議会広報編集会議

- 11日 東京・広尾会総会（～12日・東京都）
- 13日 十勝町村議会議長会議員研修会（幕別町）
- 14日 第4回議会広報特別委員会
- 17日 第3回防災公園整備に係る調査特別委員会
第10回議員協議会
- 22日 広尾町議会議員等研修会
- 24日 第5回広尾町議会臨時会
- 27日 とかち広域消防事務組合議会定例会
- 29日 第67回町村議会議長全国大会（28日～・東京都）
- 30日 第7回議会運営委員会

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和5年第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①先進地における防災公園の運営について

◇産業常任委員会

- ①サーモンの増養殖事業について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

ぎがいトピックス

9／6 北海道議長会から表彰

堀田成郎議長は、町議会議長として7年、議員として15年以上、山谷照夫副議長、前崎茂議員、渡辺富久馬議員は、町議会議員として15年以上在籍し、永年にわたる地方自治振興発展に貢献された功績が認められ、このほど北海道町村議会議長会から表彰されました。堀田議長は、6月15日に開催された北海道町村議会議長会定期総会において表彰状を授与され、ほか3議員は堀田議長から9月定例会の冒頭で伝達されました。

